

Sagano News

嵯峨野ニュース

一般
財団法人



嵯峨野病院

在宅療養あんしん病院登録病院

www.jinpukai.or.jp/sagano

Vol.51

2017WIN.

目次

嵯峨野ニュース発行理念

新年のご挨拶

院長 小松 建次

地域健康教室のご報告

できごと

院内行事のご報告

秋祭り

クリスマス喫茶

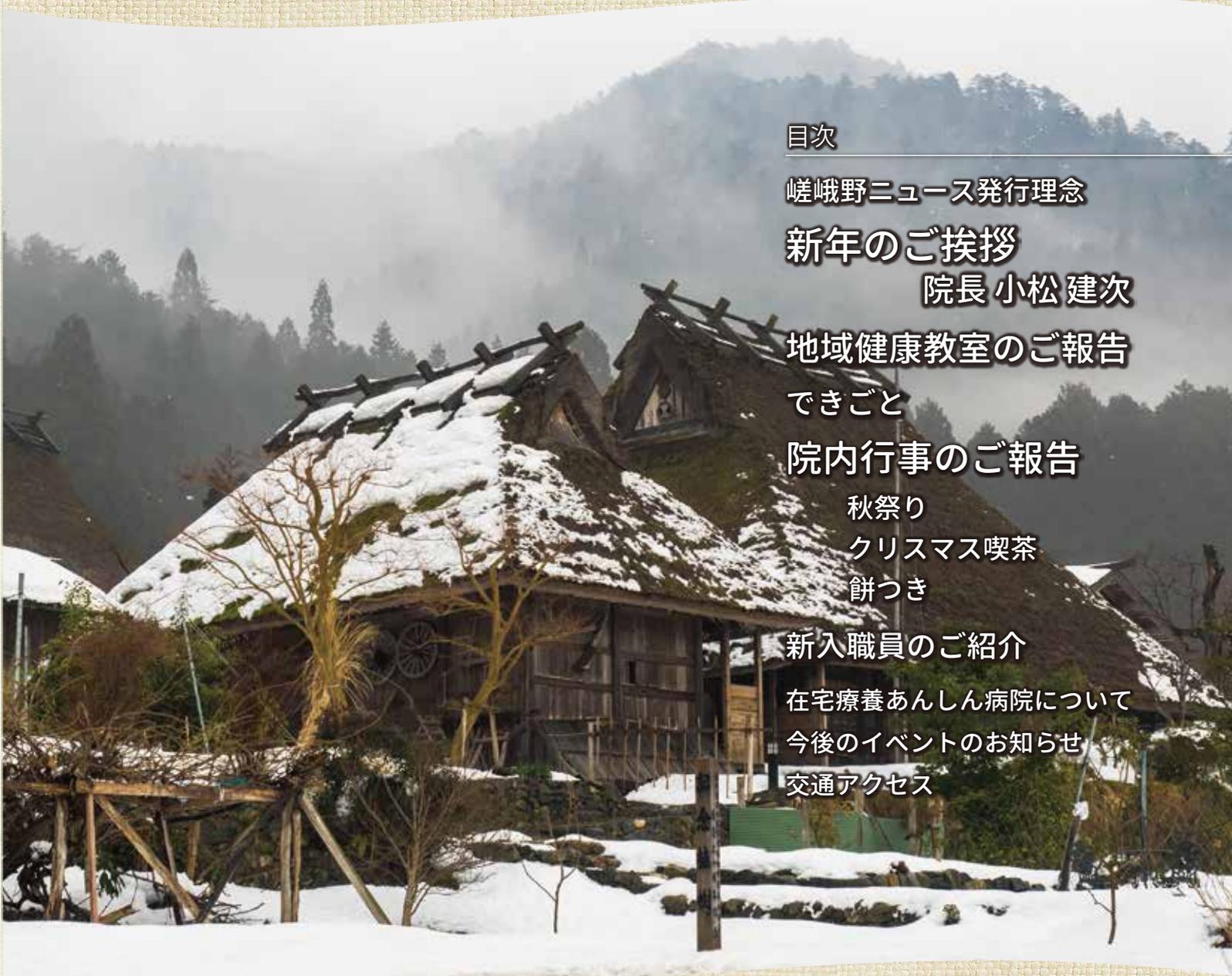
餅つき

新入職員のご紹介

在宅療養あんしん病院について

今後のイベントのお知らせ

交通アクセス



Sagano News 発行理念

目的

嵯峨野病院並びにその関連施設における包括的組織活動が広く社会から信頼を得るべく、その要望に対応し、よりよく情報を活かすこと並びに職員間の一層のコミュニケーション向上に資することを目的とする。

指針

- | 地域社会の関連施設との連携
- | 施設としての利用者の促進
- | 職員間のコミュニケーション促進と改善

平成26年4月制定

一般財団法人仁風会 嵯峨野病院 機関誌委員会



新年のご挨拶

嵯峨野病院 院長 小松 建次

新年明けましておめでとうございます。
皆様お揃いで良き新年をお迎えになった
こととお慶び申し上げます。

十干十二支では今年が丁酉（ひのととり）
であります。十干十二支の組み合わせは
60年でそれぞれ1回めぐってくるわけ
で、暦が一周して還暦であります。

この丁酉の60年前は1957年（昭和
32年）に当たります。新5千円札と1
00円硬貨が発行された年であります。
丁酉年の過去のいくつかの出来事からみ
て、この丁酉年は改革の年とも言われま
すが、今年は何事も果たしてよい方向へ
の改革であるように願いたいものです。

さて誰でもその人生において時にいく
つもの岐路があります。意識できる分岐
点もあれば、気づかないうちに分岐点が

訪れることもあると思います。そして自
己の定まった職業を通じて社会との繋が
りをもって、社会の一員としての役割を
果たして、初めて自己の人生は成り立つ
ものであります。

日々の医療、看護、介護、リハ等におき
ましても人格のバランスのとれた人とし
て行動してゆくためには「知・情・意」
が重要であると思います。

夏目漱石の小説「草枕」の冒頭に「知に
働けば角が立つ、情に棹させば流される、
意地を通せば窮屈だ、兎角人の世は住み
にくい……」と書かれて、円満な人
格に欠くことの出来ない知性、感情、意
志とのバランスを保つことの如何に難し
いかを巧く表現しています。日頃の我々
の業務でも知性、感情、意志の何れに偏
ることの無いバランスを保って患者さん
へのケアに努めたいものであります。

新たな年の初めに皆様のご健勝と益々
のご活躍を心より祈念申し上げます。



地域健康教室のご報告

10月 講師：医師 原田佐智夫

「繰り返す誤嚥性肺炎 -あなたならどうしますか?-」

高齢化社会に伴い、誤嚥性肺炎が増加しています。誤嚥性肺炎を繰り返すような状況になったときには、認知症や病気のため、自分の意志を伝えられなくなっている場合もあります。「栄養

取をどのような形で行うのか」、「点滴や経管栄養を、自分がどうしてほしいのか」を、元気なうちにご家族に伝えておきましょう。

11月 講師：歯科衛生士 志賀由美

「健口と全身の健康について -歯科疾患と全身の関わりについて-」

口の健康「健口」を守るためには、口の2大疾患である虫歯と歯周病の予防が重要です。歯周病は、動脈硬化・心筋梗塞・脳梗塞・糖尿病・誤嚥性肺炎など、全身疾患とも関連するとされていま

す。健口は全身の健康にも関わっていることが、解明されてきているのです。歯周病の予防には、「セルフケア」「生活習慣の見直し」「定期的な歯科受診」が大切です。

12月 講師：看護部顧問 稲岡静子

「人生はシーソーゲーム -自立と自律-」

加齢とともに、身体の動きと心のバランスを取るのが難しくなってきます。自分のことを自分で行う「自立」と、自分を律する「自律」。「自分らしさ」を一日でも長く保つために、出来ることは何でしょうか。昔は簡単に出来たことが出来な

くなってきたとしても、そこで全てがダメとは思わずに、自分の健康に関心を持ち続け、「口の体操をする」、「身体を洗うときに意識して手をしっかり動かす」など、自分の能力に合ったことを積み重ねていきましょう。

できごと

嵯峨野病院をご利用いただいた方からの寄付により、車イスを購入することができました。大切に使用させていただきます。



平成28年11月18日、清水理事長の京都府警察官友の会における貢献が認められ、京都府警察より感謝状が送られました。



院内行事のご報告

10/17 秋祭り

恒例の秋祭りは、開催前から「楽しみにしているよ」と患者様がおっしゃるほどに、ご期待をいただいています。

当院では太鼓や笛のお囃子のBGMをかけ、職員が法被(はっぴ)を着てお祭りを盛り上げます。たくさんの患者様がゲームを楽しまれたり、屋台のアイスクリームやたこ焼きを美味しく召し上がられていました。



12/20 クリスマス喫茶

今回のクリスマス喫茶では、患者様に真っ白なスノードームケーキを召し上げて頂きました。ケーキを食べながらキラキラ輝くクリスマスツリーを見て、楽しいひと時を過ごされました。



12/28 餅つき

お正月に向けて鏡餅を作るために餅つきを行いました。たくさんの患者様が参加くださり、職員によるダイナミックな餅つきを見て頂きました。力強い杵さばきによって、あっという間に美味しそうなお餅がつきあがりしました。



第24回 日本慢性期医療学会 in 金沢

慢性期医療と創る未来～医療・介護とまちひと・しごと～



会場：金沢音楽堂
ホテル日航金沢

今回の日本慢性期医療学会は金沢音楽堂とホテル日航金沢で開催され、全国から総勢2,300名以上が集まりました。多様なシンポジウムや、数多くの研究発表が行われ、現在の問題点や今後の慢性期医療のあり方について学ぶ機会となりました。

清水理事長が座長を務めたシンポジウム



「介護療養病床のあり方を考える」

座長：清水 紘 (仁風会 理事長)

シンポジスト：

鈴木 健彦氏 (厚生労働省老健局老人保健課 課長)

小山 秀夫氏 (兵庫県立大学経営研究科 教授)

桑名 斉氏 (信愛病院 理事長)

山上 敦子氏 (鳴門山上病院 理事長)

【嵯峨野病院の演題発表】

『その人らしく ～身体拘束解除がもたらしたもの～』

ケアワーカー 長野 侑加

『他職種との連携により経鼻経管栄養から経口摂取に移行可能となった一例』

言語聴覚士 榎木 知洋

『認知症患者の摂食・認知期へのアプローチ ～視覚で美味しく、食べやすく～』

管理栄養士 松本 理

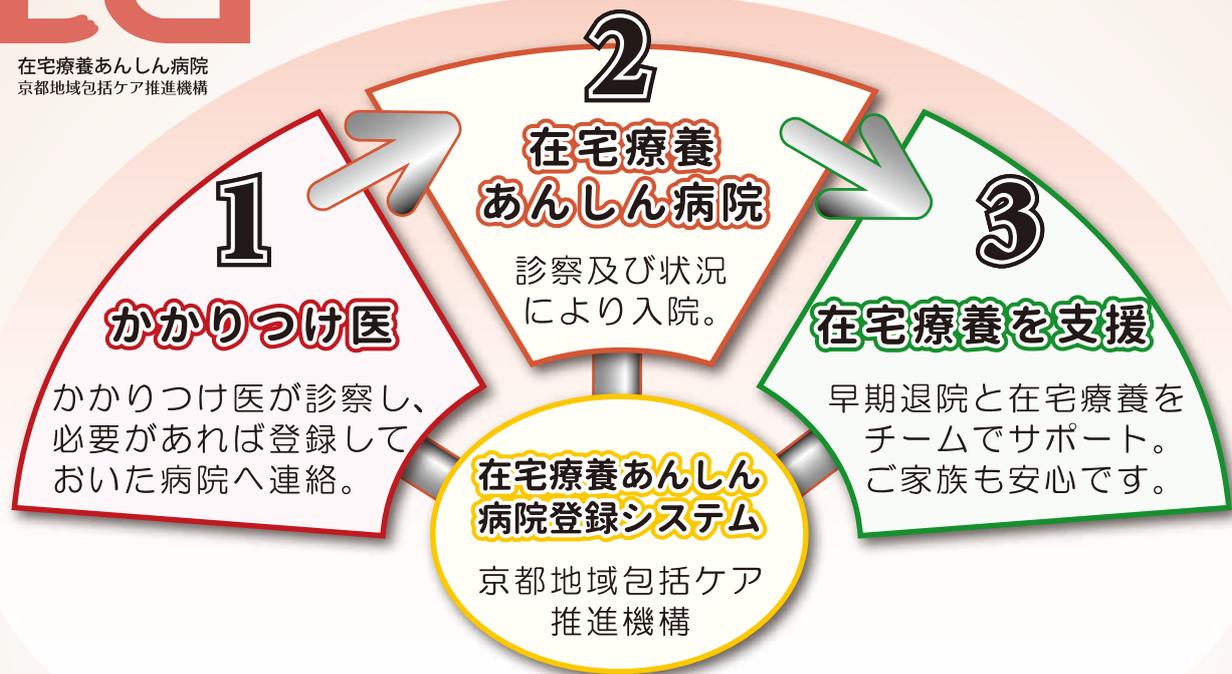
在宅療養あんしん病院 登録システム

本システムに登録をすることで、事前にかかりつけ医と登録病院及び在宅療養を担当するチームとの連携を作り上げることができ、体調を崩された時でもよりスムーズな受診が可能です。あらかじめお選びいただいて登録した病院で詳しい診察や入院対応を行うので、患者様やそのご家族の不安解消にも役立っています。

※登録の際は必ずかかりつけ医にご相談ください



在宅療養あんしん病院
京都地域包括ケア推進機構



嵯峨野病院では、外来診察や入院治療だけでなく、在宅介護関連事業も幅広く行っております。本システムご利用方法などについても、詳しくご説明させていただきますので、ご不明な点やご不安な事などがありましたら、お気軽に受付までご相談ください。

対象となる方

京都府在住の65歳以上の方で、次のような在宅療養中の方が対象となります。

- 訪問診療を受けている方
- かかりつけ医に定期的に通院されている方

登録無料

要介護認定を受けている方であれば、嵯峨野病院を「あんしん病院」として登録することができます。(指定番号:シ-4)

※ご注意

本システムは、比較的軽度の病状変化によって在宅療養の維持が困難になり、1週間以内に退院できると見込まれる場合に利用できます。急性心筋梗塞、脳卒中、骨折などの緊急性の高い病気やケガ、および長期療養を目的とした入院は本システムの対象とはなりません。

今後のイベントのお知らせ

- 2月 3日 (金) 13:30 ~ 「節分」
場所：嵯峨野病院 1階 食堂談話室
- 2月 25日 (土) 13:30 ~ 「地域健康教室 (リハビリ科)」
場所：嵯峨野病院 1階 食堂談話室
- 3月 3日 (金) 13:30 ~ 「ひな祭り喫茶」
場所：嵯峨野病院 1階 食堂談話室
- 3月 10日 (金) 15:45 ~ 「第9回 JINPAS」
場所：嵯峨野病院 1階 食堂談話室
- 4月 (日時未定) 「お花見」
(日時の詳細は、決まり次第に別途お知らせいたします)



嵯峨野病院グループ 交通アクセス

- ① **嵯峨野病院**
〒616-8251
京都市右京区鳴滝宇多野谷9
TEL：075-464-0321
FAX：075-461-7383
- ② **嵯峨野病院 在宅介護支援事業所**
TEL：075-467-8726
訪問介護事業所 さがの
TEL：075-467-8736
〒616-8251
京都市右京区宇多野福王子町2番6
FAX：075-467-8007
- ③ **嵯峨野病院
上野橋デイサービスセンター**
〒615-8003
京都市西京区桂上野東町103
TEL：075-383-0900
FAX：075-383-0905